

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 5 月 9 日(2023.5.9)

【公開番号】特開 2021-47394(P2021-47394A)
【公開日】令和 3 年 3 月 25 日(2021.3.25)
【年通号数】公開・登録公報 2021-015
【出願番号】特願 2020-83754(P2020-83754)
【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30(2006.01)
G 0 9 F 9/30(2006.01)
C 0 9 J 7/38(2018.01)
C 0 9 J 201/00(2006.01)
G 0 2 F 1/1335(2006.01)

10

【F I】

G 0 2 B 5/30
G 0 9 F 9/30 3 4 9 E
C 0 9 J 7/38
C 0 9 J 201/00
G 0 2 F 1/1335 5 1 0

20

【手続補正書】
【提出日】令和 5 年 4 月 26 日(2023.4.26)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

30

前面板と、第 1 粘着剤層と、偏光板と、第 2 粘着剤層と、背面板と、をこの順に備え、
前記第 1 粘着剤層は、酢酸エチルに浸漬して溶出した成分のうち、重量平均分子量が 1
0 万以下である成分の割合が 10 質量%以上 30 質量%以下である光学積層体。

【請求項 2】

前記第 2 粘着剤層は、酢酸エチルに浸漬して溶出した成分のうち、重量平均分子量が 1
0 万以下である成分の割合が 10 質量%以上 30 質量%以下である、請求項 1 に記載の光
学積層体。

【請求項 3】

前記第 1 粘着剤層を酢酸エチルに浸漬して溶出した成分のガラス転移温度、及び前記第
2 粘着剤層を酢酸エチルに浸漬して溶出した成分のガラス転移温度は、それぞれ - 70
以上 - 40 以下である、請求項 1 又は 2 に記載の光学積層体。

40

【請求項 4】

前記第 1 粘着剤層のゲル分率を R 1 (%) とし、前記第 2 粘着剤層のゲル分率を R 2 (%) としたときに、下記関係式：

$$R 1 < R 2$$

を満たす、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の光学積層体。

【請求項 5】

前記第 1 粘着剤層のゲル分率は、65 % 以上 95 % 以下である、請求項 1 ~ 4 のいずれ
か 1 項に記載の光学積層体。

【請求項 6】

50

前記第 2 粘着剤層のゲル分率は、60%以上95%以下である、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の光学積層体。

【請求項 7】

前記第 1 粘着剤層は、(メタ)アクリル系樹脂、ゴム系樹脂、ウレタン系樹脂、エステル系樹脂、シリコン系樹脂及びポリビニルエーテル系樹脂からなる群より選択されるベースポリマーを含む粘着剤組成物から形成され、

前記ベースポリマーは、ガラス転移温度が 0 を超えるモノマーに由来する構成単位の含有量が 10 質量%以下である、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の光学積層体。

【請求項 8】

前記第 1 粘着剤層は、(メタ)アクリル系樹脂を含む粘着剤組成物から形成され、

前記第 1 粘着剤層における酢酸エチルに浸漬して溶出した成分のうち、重量平均分子量が 10 万以下である成分は、(メタ)アクリル系樹脂を含む、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の光学積層体。

【請求項 9】

前記第 1 粘着剤層の厚みは、1 μ m 以上 50 μ m 以下である、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の光学積層体。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の光学積層体を含む表示装置。

【請求項 11】

前記前面板側を内側にして屈曲可能である、請求項 10 に記載の表示装置。

10

20

30

40

50